

# 退任あいさつ

『緑豊かなふるさと 文化が香る 元気なまち』の実現に向けて、平成24年から中野市の発展とまちづくりに尽力された池田茂第3代・4代中野市長が、11月22日付けで退任されました。

市民の皆さんの温かいご支援、  
本当にありがとうございました。



前市長 池田茂氏

## 市民の皆さま

## ありがとうございました

平成24年11月から2期8年間、市政をお預かりしました。この間、市民の皆さまには多くのご支援、ご協力をいただき、務めることができました。深く感謝申し上げます。

中野市長として、人口減少、少子高齢化が進む中で、将来にわたり活力があり、地域の中心都市であるためには、地域が外に開かれ、人的経済的交流を中野市の農産物を通じて情報発信することで、認知度を高め、地域ブランド確立の手立てとすることに努めました。まずは地域経済力の強化でした。

次に人口減少対策でした。「衣・食・住」は「医・職・住」と読み替えることにより、地域の魅力を創り、人口流出を防ぐため、生業がたつ農業、

新規就農、起業環境整備に取り組み、仕事が集積することが必要であり、その上で、定住定着を促進することが人口の社会減少を食い止める手段と考え、住環境の整備に取り組みました。特に、住環境の要は育児環境や生活環境など都市機能インフラの更新整備であり、保育園整備、子育て支援センターの整備、教育環境の整備、医療費無料の拡充などに取り組みました。

これからの時代は公民連携をより進める必要があり、民間でできることは民間にお任せすることが求められています。そのため、民間の自主的な活動を支援してきました。交流・連携・協働は新しい時代に必要なメインの指針であり、「中野のチカラ応援事業補

助金」など、積極的に市民活動を支援してきました。

また一方、音楽都市中野市をよりアピールするため、中野市ゆかりの皆さんに協力をお願いするなかで、文化都市としての情報発信にも努めました。

中野市の地理的・経済的ポテンシャルは高く、発展する可能性を秘めた都市であると考えます。

最後になりますが、市民の皆さまのご健勝とご多幸ならびに中野市のさらなる発展を祈念し、退任のご挨拶とします。ありがとうございました。



▲退任式の様子

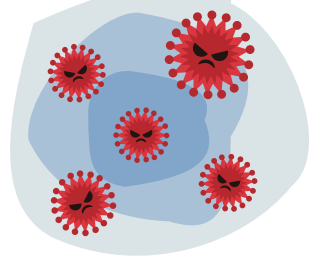
30歳代と比較した場合の  
各年代の重症化率

年代	重症化率
10歳未満	0.5倍
10歳代	0.2倍
20歳代	0.3倍
30歳代	1倍
40歳代	4倍
50歳代	10倍
60歳代	25倍
70歳代	47倍
80歳代	71倍
90歳以上	78倍

※「重症化率」は、新型コロナウイルス感染症と診断された症例（無症状を含む）のうち、集中治療室での治療や人工呼吸器等による治療を行った症例または死亡した症例の割合です。

正しく恐れ  
×  
正しく予防

# 新型コロナウイルスの「いま」についての知識



▲より詳しい知識については、厚労省「新型コロナウイルス感染症の「いま」についての10の知識」をご覧ください。

A1

Q1

重症化しやすいのは、高齢者と基礎疾患のある方です。

新型コロナウイルス感染症と診断された人のうち、重症化しやすいのはどんな人ですか。

重症化のリスクとなる基礎疾患には、慢性閉塞性肺疾患（COPD）、慢性腎臓病、糖尿病、高血圧、心血管疾患、肥満があります。また、妊婦や喫煙歴など、重症化しやすいかは明らかでないものの、注意が必要とされています。

A2

Q2

発症の2日前から発症後7〜10日間程度とされています。

感染した人が、他の人に感染させてしまう可能性がある期間はいつまでですか。

この期間のうち、発症の直前後で特にウイルス排出量が高くなると考えられています。このため、新型コロナウイルス感染症と診断された人は、症状がなくなっても、不要・不急の外出を控えるなど感染防止に努める必要があります。

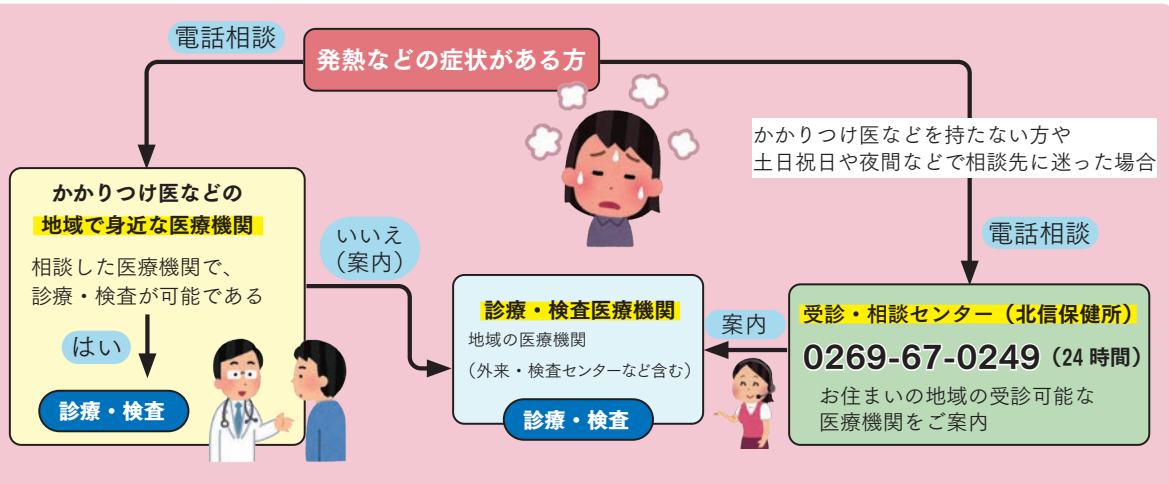
A3

Q3

まず、電話でかかりつけ医など地域の身近な医療機関にご相談ください。

季節性インフルエンザの流行期ですが、発熱などの症状が出たらどうしたらいいですか。

かかりつけ医を持たない方や土日祝日や夜間などで相談先に迷った場合には、受診・相談センター（北信保健所）にご相談ください。（下図を参照）



## 感染リスクが高まる「5つの場面」

これらの場面では、きちんと対策を講じ、感染予防に努めましょう。

- 場面① 飲酒を伴う懇親会など
- 場面② 大人数や長時間におよぶ飲食
- 場面③ マスクなしでの会話
- 場面④ 狭い空間での共同生活
- 場面⑤ 居場所の切り替わり

A4

Q4

「密閉」「密集」「密接」の3密を避け、感染リスクが高まる5つの場面に注意しましょう。

新型コロナウイルス感染症を拡げないためにどのような場面に注意する必要がありますか。

主に飛沫感染や接触感染によって感染するため、3密の環境で感染リスクが高まります。このほか、飲酒を伴う懇親会や大人数や長時間におよぶ飲食、マスクなしでの会話、狭い空間での共同生活、居場所の切り替わりといった場面でも感染が起きやすく、注意が必要です。